

(3) 消 去

カウンターの表示が確認方法、順序3~4のとき、クリアボタンを押し を表示中に、セットボタンを押すとその登録内容が消去できます。

- ご注意
- 登録できる切り替えの数は最大56です。登録中に56をこえるとカウンターに、 と表示され、ブザーが鳴ります。また、56をこえるためコピーできなかった場合およびコピーにより、ちょうど56になった場合は と表示されます。自動切り替えボタンを押してアラームを解除してください。
 - 登録中に不合理な数値を入力した場合はエラー表示になります。(例えば25時00分などを入力した場合) カウンターはエラー表示 となり、ブザーが鳴ります。クリアボタンを押して再度正しい数値を入力してください。
 - 登録のに途中で60秒以上、何もしないと、ブザーが鳴り解除となります。その場合は再度、最初から操作してください。

16-4 休日の登録、変更

- 自動切替タイマーに登録した「応答専用」モードの設定以外に、年間の祭日(計13日…下表)は、自動的に応答専用モードに切り替わります。祭日以外の休日を設定する必要がある場合(例えば、年末、年始の休日、夏休み、会社創立記念日など)は、次の方法により休日の追加登録ができます。(追加登録できる数:19日)

(1) 休日の追加登録のしかた(例、元日以外に、1月2日~1月5日を休日にする場合)

1	解除ボタンを押します。(メッセージは、あらかじめ録音しておきます)	
2	タイマーセットボタンを押します。	<input type="text" value="R"/>
3	<input type="text" value="S"/> ・セットと、ボタンを押します。 —自動登録されている祭日の1月1日がカウンターに表示されます。	<input type="text" value="0. 0 1 0 1"/>
4	セットボタンを押すたびに自動登録されている祭日が表示され、合計13回押すと未登録表示(<input type="text" value="—"/>)になります。	<input type="text" value="—"/>
5	休日の追加登録を行います。 まず、1月2日を登録するので、 <input type="text" value="S"/> ・ <input type="text" value="0"/> 1月・ <input type="text" value="0"/> 2日と押します。	<input type="text" value="0. 0 1 0 2"/>
6	セットボタンを押します。	—これで、1登録されました。
7	続いて、順序5. 6と同様の方法で1月3日~1月5日を追加登録します。	
8	すべての追加登録が終わったら解除ボタンを押します。	

自動登録される祭日

1月 1日	元 日	5月 5日	こどもの日
1月15日	成人の日	9月15日	敬老の日
2月11日	建国記念の日	9月23日	秋分の日
3月21日	春分の日	10月10日	体育の日
4月29日	みどりの日	11月 3日	文化の日
5月 3日	憲法記念日	11月23日	勤労感謝の日
5月 4日	国民の日		

(2) 祭日、休日の消去のしかた

自動登録されている祭日、または一度登録した休日を消去する場合は、上記の順序3のとき、カウンターに消去する月日を表示中に、クリア→セットと押します。

(3) 休日の変更のしかた

変更する(旧)年月を(2)の方法により消去し、(新)年月を順序4の未登録表示になったとき、順序5、6と同様の方法で入力し、登録します。